

新産業廃棄物最終処分場整備調査特別委員会 会議結果

1 開催日時 令和2年8月24日（月） 午前9時58分から午前11時27分まで

2 出席者 21名

(1) 特別委員会委員 8名

(2) 説明員

ア 茨城県 3名

県民生活環境部長、県民生活環境部 次長、県民生活環境部 廃棄物対策課 課長

イ 一般財団法人 茨城県環境保全事業団 1名

副所長兼技監兼施設課長

ウ 日立市 5名 生活環境部長 ほか

(3) 議会事務局 4名

3 会議概要

茨城県から、住民説明会とエコフロンティアかさま見学会の実施状況及び今後のスケジュールについて説明があったほか、説明会で住民から出された「交通安全対策」や「搬入ルート」、「周辺環境への影響」などの意見への対応方針について説明を受け、質疑を行った。なお、主な質疑の内容は次のとおりです。

(1) 委員 : 交通安全対策として、搬入車両や時間制限、通行禁止区間の設定等をどのように考えているのか。

回答(県) : 一定のエリアを通行禁止区間に設定するほか、通行可能時間を区分するなどに対応したいと考えている。

(2) 委員 : 最終処分場整備候補地周辺の湧水や雨水を鮎川に流すことによって、流量の増加が懸念される。下流部の護岸の状況を調査し、必要な整備を進める必要があると考えるが見解を伺いたい。

回答(県) : 鮎川の護岸整備については、今後、検討していきたい。

(3) 委員 : 住民説明会で出された意見に対する回答をまとめた「住民説明会Q&A」について、ホームページでの公開以外の方法は考えているのか。

回答(県) : 近隣のエリア（諏訪、成沢、油縄子、成沢学区等）については、各コミュニティと相談しながら、交流センターへの配架等もひとつの方法と考えている。できるだけ多くの方に見ていただけるよう工夫していきたい。併せてフォローアップの説明会も考えている。

(4) 委員 : 新設道路については、県の「新産業廃棄物最終処分場整備に伴う交通問題対策会議」で具体的な対応策を検討するということだが、基本計画を策定する前に方向性を示さなければ、市民の理解は得られないのではないか。

回答(県) : 道路については、なるべく早く検討し、一定の方向性を示すことも必要であるが、大きな問題であるため、しっかりした検討が必要と考えている。その辺のことを全体的に勘案しながら進めていきたい。

(5) 委員 : 当初の説明の中で、産業廃棄物最終処分場を整備するに当たっては、中間処理施設を併設し、その内容については、市と協議して、日立市型の中間処理施設を整備する説明があったと理解しているが、そのような考えでよいのか。

回答(県) : 考え方は変わっていない。日立市にどのような施設が必要なのか、中間処理施設の内容について検討していきたい。

以上